

台日工程技術検討会出張報告

1 台日工程技術研究会について

11月29日～12月3日に台湾台北で開催された「台日工程技術研究会」に原子力研究所の岡田往子准教授が招かれた。本大会は1980年中華民国と日本が国交断然となった際、日本の技術者との交流が途切れることを危惧して、この会の主催者である「中國工程師學會」および「台湾科学技術協会」が設立した。その時、東京都市大学の堤井信力名誉教授が尽力され、現在も日本分会代表として活躍されている。研究会は、中華民国の基幹産業であるエネルギーや環境、金属・機械、電気・通信、鉄道・港湾、原発・防災などから選定した約20組(研究グループ)60の議題に対して、日本の講師と台湾の関係者が議論と交流を展開していくことが目的である。開催初日は、総統府で総統との謁見も行われた。原子力研究所の岡田往子准教授は台湾原子能委員会で講演を行い、また、原子能研究所への訪問も行い、交流を行った。



写真1 11月29日 中華民国総統府記念写真



写真2 11月29日 馬総統と記念写真



写真6 歓送会 東京都市大学名誉教授堤井信力先生



写真7 講演の様子



写真9 講演後の記念写真

岡田左 范盛慧科長（通訳）



写真8 講演